

【課題9】衛星観測データを活用した環境課題解決に資する技術の開発

環境省

フェーズ1公募機関



新エネルギー・産業技術総合開発機構
New Energy and Industrial Technology Development Organization

研究開発課題

【背景】

- GOSAT*1、GOSAT-2を活用し、地球全体の大気中のCO₂及びメタン濃度を2009年以来約17年間、継続観測。
- 3号機となるGOSAT-GW*2を2025年6月に打上げ。全球・高頻度・高精度の観測となり、これまでの10-100倍の量のデータを生成。

*1 : GOSAT : Greenhouse gases Observing SATellite

*2 : GOSAT-GW : Global Observing SATellite for Greenhouse gases and Water cycle



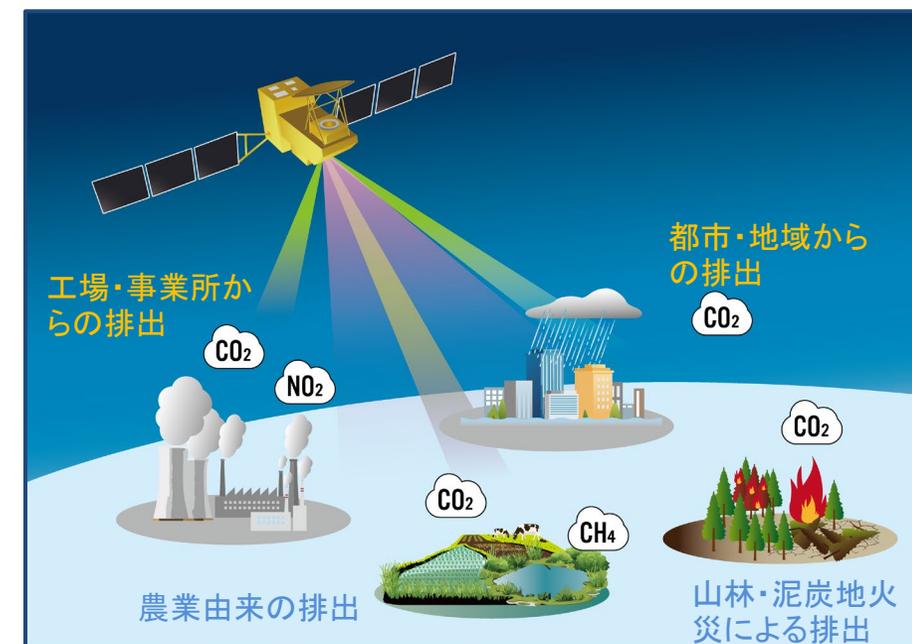
GOSAT-GWによる全球観測

【解決したい課題】

- 排出吸収プロジェクトの定量化・クレジット化のコスト・時間の問題。
- 地方公共団体や企業が利活用するための衛星データの可視化。
- 観測衛星による質の高いデータの生成及びその提供スピード。

【本開発の位置づけ】

- 人工衛星のなかでも、特に温室効果ガスを観測するGOSATシリーズのデータを活用して、環境・気候変動政策に貢献する技術開発を目指す。

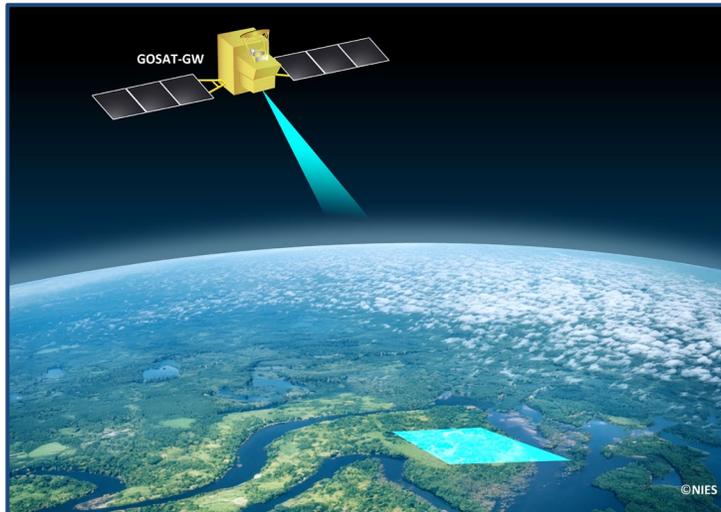


GHG観測衛星による観測対象例

衛星観測データを活用した環境課題解決に資する技術の開発 全般を支援対象としています

【求める技術の一例】

- プロジェクト実施による温室効果ガス吸収・排出量の速やかな定量化・クレジット化のための技術
- カーボンクレジットの創出・検証
- ESG投資やサステナビリティ報告の信頼性確認に資する技術
- 衛星データを企業の自然資本や生物多様性への取組評価に活用する技術



提供できる支援内容

【事業化までのロードマップ（支援内容）】

- フェーズ1での達成目標、フェーズ2への移行条件
 - ◆ フェーズ1終了時点において、FS及びPoCを完了し、事業化が見込める技術的成果を得ること、および有望な事業モデルが想定されている状態を目指す
 - ◆ フェーズ2への移行にあたっては、有識者委員会によるステージゲート審査において、研究開発に必要性、効率性、有効性及び社会実装性等が認められ、採用に足る評価を得ること。フェーズ1実施者が研究者の場合は法人の設立
- フェーズ2で得られる支援内容
 - ◆ フェーズ2省庁による製品化及び事業化に向けた支援を実施する
- フェーズ2での達成目標
 - ◆ フェーズ2終了時点において、実環境での技術検証ができており、資金面も含め事業化・実用化の目途が立っている状態を目指す
- フェーズ2終了後の支援内容等
 - ◆ 環境省を含む政府の事業化支援事業を紹介

【補助金の交付額】

- 対象経費の3分の2（上限1,500万円）

【ステージゲート審査時期（予定）】

- 令和9年5～6月